

はくあい

H A K U A I

発行所:博愛社/〒532-0028 大阪市淀川区十三元今里3丁目1-72/TEL06-6301-0367 FAX06-6301-5347
ホームページアドレス <https://hakuaisha-welfare.net>

**児童養護施設
「博愛社いずみ」開設**
【博愛社いずみ】

2023年4月に児童養護施設博愛社から分園し、博愛社いずみを開設しました。1階に居室、2階にリビングがある間取りである為、ここから「1階にリビングがあったほうが、帰ってすぐ（職員）の顔を見ながら、ただいま！って感じやん！」と声が上がっていました。しかしそれも、今では日当たりが良いリビングがお気に入りなので、階段から駆け上がりながらの「ただいま！」に癒されています。炊事・洗濯・掃除も子どもと一緒に取り組んでおり、支援目標として「自主性を育み、主体性を養うことができる支援」をのめと、社会に出て困りごとが最小限になるような養育に努めています。

【主任 西川眞砂子】



教会に向かうお年寄りに寄り添う子どもたち

**「社会福祉法人 博愛社」
の理事長に就任させて
いただきたい。**
畑野 研太郎

このたび「博愛社」の理事長を拝命いたしました畑野研太郎と申します。微力な者ですし、私にとつては新しい世界に足を踏み入れるようなこのお仕事を、お引き受けさせていただきましたのには三つの理由がございました。

博愛社が働いておられる分野について、漠然とは理解しておりましたが、この一年間常務理事として活動に参加さ

感謝

長野 泰信

『堅く立つて動かされずいつも全力を注いで主のわざに励みなさい』

私たちの聖婚式の折に小池俊男主教から頂いた色紙の自筆のみ言葉です。

この聖句は、私の生涯の歩みにそっと寄り添って、励まし続けてくれました。

2008年春 博愛社へ遣わされて、チョットのお手

せていただき、児童・高齢・保育教育・それに新設された障がい、それぞれの部門が「仕えておられる人々」お一人お一人が抱えておられる困難を、より教えていただく中で、これらの方々の中に間違いなくキリストがおられることを実感できるようなって来たことが第一の理由です。

第二の理由は、それらの困難を抱えて生きる人々に寄りそって下さっている職員の方々を知る機会を与えていただいたことです。この尊敬すべき方々と共

伝いのつもりが、どつぷりと博愛社に浸かりアツと思う間の楽しい14年間でした。保育・教育の必要な幼い子どもたち、やんちゃで可愛い児童のこともたち、106歳のお

年寄りまでの利用者の皆さま、元今里を中心とした地域の方々、大きな働きをして下さった職員、スタッフの皆さまに囲まれ贖主教会を中心に博愛社に繋がる事が出来感謝です。

人生の後半をこの様な

に働きたいとの想いが与えられたことです。第三の理由は、この働きに主の召しを感じるようになったことです。

どうか皆様ご指導ご鞭撻、よろしくお願いいたします。



恵まれた環境で神さまの御用が出来ましたことを心から神さまと皆さまにお礼を申し上げます。ありがとうございます。



四季折々 **季節を感じる 気持ちを大切に**

給食の献立をたてる時、私はまず旬の食材を調べることから始めます。

スーパーで買い物をしていると、いつでもどこにいても、ほとんど同じ野菜や魚、肉などの食材が手に入ります。便利なことですが、季節を感じにくくなっているような気がします。

八百屋さんで野菜を注文した時、「〇〇は時季じゃないから少し高いかも」と言われることがあり、私自身も旬について疎くなっているなと感じます。

保育園のあんずの木も花が咲いたり、実がなったり、葉っぱが落ちたりと季節によって違う姿に変わります。毎月変わる保育室の壁面展示や行事やイベント、それにまつわる歌を保育士さんが歌っているのを聞くことも季節を感じるものの一つです。

「そろそろあんずの実が熟してきたね」「玉ねぎの皮がむきやすくなってきたね」「すいか割りの季節だね」

いつでもなんでも手に入るご時世ですが、おいしい旬の野菜や果物を使い、献立や行事から“季節感”と“その時季を楽しむ気持ち”を子どもたちに伝えていけたらと思います。

【こひつじ乳児保育園】

管理栄養士 中辻 亜紀

博愛社
新施設長あいさつ

【児童養護 博愛社】

児童養護はこの5年間で地域化・小規模化が飛躍的に進みました。今まで子どもたちが生活をしてきたウイリアムス館も個室の改修を行い、より家庭的な環境となります。安定した大人とこどもの関係の中で、こどもが博愛社を退所した後も、嬉しいときはもちろん、疲れたときや迷ったときに自然と足が向かい、また前を見て一歩踏み出せる。それぞれのホームがそのような

場所になってほしいと思います。

【施設長

河野 光裕】



博愛社いずみ
新施設長あいさつ

【児童養護 博愛社いずみ】

2023年4月1日に本体施設より分園し、保育園の跡地に開設した児童養護施設博愛社いずみの施設長を拝命しました梶川靖夫です。「自主性を

育み、主体性を養うことができる支援」を支援目標に掲げ、事業方針である「自律した社会人になるための支援」に繋がられるようこどもたちを支援していきます。また、博愛社いずみが地域のオアシス（泉）となれるよう開かれた施設を目指していきたいと考えています。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

【施設長 梶川 靖夫】



博愛社 春の人事 (2023年4月)

◆入社◆

[児童養護施設] 黒田 茉優、堀江 亮太、尾崎 秀行、安田 郁代、末永 早紀、浦田 瑠偉、中西 由香里 (以上児童指導員)、加賀 亮、三橋 祈織、澤田 千夏、影山 阿斗 (以上保育士)

[いずみ] 谷口 瑛彼、木村 友哉、石崎 大輝、中村 敦也、田代 清風 (以上児童指導員)、上原 美咲、流 妃央 (以上保育士)、青山 三奈 (心理士)

[北部里親支援機関かなーちえ] 中谷 仁美、中西 まり子 (以上相談員)、八木 紗恵子 (心理士)

[こひつじ乳児保育園] 高島 ますみ、佐原 未佳、塚川 雅美、武田 悠 (以上保育士)

[博愛社こども園] 近藤 良樹、近藤 さくら、辻 あおい、松山 陽 (以上保育教諭)

2022年度(2022年4月、2023年3月)に、皆さまから博愛社へお寄せいただきました、寄付金について感謝のご報告をいたします。

寄付金の総額は1730万余円でした。内訳は一般寄付340万円、後援会240万円、各施設指定寄付1150万円です。

コロナの環境が少し和らぎ、個々がその対応に立ち向かい、徐々に活動し始めた年でした。

その中で博愛社は『繋がる』をテーマに各事業所がそれぞれ工夫を凝らし事業を展開して参りました。児童養護施設『博愛社いずみ』の開設、博愛社にとって長年の課題であった児童発達支援事業『ステラ』を立ち上げる事が出来ました。児童養護施設は昨年から施設の小規模化に取り組み、地域に5軒と法人内に4軒の一戸建ての児童養護施設を開設。こどもの処遇を集団の管理から、ひとり一人を丁寧に育てる家庭づくりへ大きく変化しました。

こどもは明るく伸び伸び育ち、一方職員は日々の食事づくりなど、生活の変化が大きく大変です。一方こども園では140人の園児の中で特に支援の必要な17人のお子さまのために療育を中心とした児童発達支援『ステラ』を開設し、より丁寧なこどもの教育活動に取り組みました

法人のメインストリートを開放し桜の通り抜けを実施、同時に博愛社の歴史を写真で紹介し、近隣の方々も懐かしく写真の前で立ち止まって目を凝らして観ておられました。

高齢者施設博愛の園では7月と11月に大

感謝のご報告

2022年度分

きなクラスターが発生しましたが、感染予防の徹底や発症後の対応も速やかで適切になり、赤信号下でも面会を継続することが出来ました。

博愛社は1890年1月1日現兵庫県相生市矢野町瓜生で創設者小橋勝之助が私財をなげうち孤児を收容する施設をスタート。その後村のこどもたちへの教育の必要性を説き博愛社文庫や夜間学校を開設しました。去る6月3日博愛社こども園職員43名が瓜生を訪れお墓参りと小橋の実家を訪問。博愛社の原点を確認し、3人の先輩から小橋勝之助の生涯を学びました。現在共に働く仲間が博愛社の歩みを学び、創設者の想いを知ることが出来る機会が与えられたことは感謝の時でした。

2022年度の博愛社は、下記の決算報告書のとおり、各施設、法人本部とも健全に運営されていることを、感謝をもって報告いたします。

皆さまには、このような博愛社の働きに対し、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

なお、寄付金、寄贈品、後援会費をいただきました方々への感謝の思いを込めて、お名前を次のページ以降に掲載させていただきました。

社会福祉法人 博愛社

理事長 長野 泰信

後援会長 豊川 雅章

副会長 佐野 信三

事務局長 和多田 祐

社会福祉法人 博愛社 2022年度 (令和4年度) 決算報告書

(単位千円)

1. 資金収支計算書

科目	予算	決算	差異
①事業活動収入	1,788,280	1,868,828	-80,548
②事業活動支出	1,710,690	1,736,802	-26,112
A.事業活動収支差額	77,590	132,026	-54,436
③施設整備等収入	181,660	193,012	-11,352
④施設整備等支出	371,880	379,465	-7,585
B.施設整備収支差額	-190,220	-186,453	-3,767
⑤その他活動収入	333,540	336,086	-2,546
⑥その他活動支出	269,240	312,303	-43,063
C.その他活動収支差額	64,300	23,783	40,517
D.当期資金収支差額	-48,330	-30,645	-17,685
E.当期末支払資金残高	559,599	577,284	-17,685

※寄付金収入 17,319

2. 事業活動収支計算書

科目	当年度	前年度	増減
①サービス活動収益	1,836,757	1,734,685	102,072
②サービス活動費用	1,796,004	1,713,212	82,792
③サービス活動外収益	32,070	28,225	3,845
④サービス活動外費用	17,913	18,603	-690
A.経常増減差額	54,910	31,095	23,815
⑤特別収益	447,755	337,673	110,082
⑥特別費用	463,076	303,719	159,357
B.特別増減差額	-15,321	33,954	-49,275
C.法人税・事業税等	392	418	-26
D.当期活動増減差額	39,197	64,631	-25,434
E.次期繰越活動増減差額	1,411,589	1,338,392	73,197

※国庫補助取崩額 53,508 減価償却額 119,907

3. 貸借対照表

借方				貸方			
科目	当期末	前期末	増減	科目	当期末	前期末	増減
①流動資産	914,891	713,562	201,329	④流動負債	347,498	117,160	230,338
②基本財産	2,819,813	2,525,258	294,555	⑤固定負債	388,563	405,165	-16,602
③その他固定資産	1,026,166	1,113,718	-87,552	⑥基本金等	2,613,220	2,491,821	121,399
				⑦次期繰越収支差額	1,411,589	1,338,392	73,197
A.資産合計	4,760,870	4,352,538	408,332	B.負債・純資産合計	4,760,870	4,352,538	408,332

※国庫補助金積立残高 1,279,960 積立金額 641,500

ご芳名

社会福祉法人博愛社への寄付および
物品寄贈者 2022年度分(敬称略)

【寄付金】

青山孝子、芦屋聖マルコ教会、藤壹、篠塚茂子、鈴木敏雄、荒木幸代、井上綾子、井上薫、聖贖主教会婦人会、聖公会岩田幼稚園、臼井幸子、宇紅葉幼稚園教会学校、聖ミ田玲佳、内宮隆夫、浦谷美カエル幼稚園、瀬川優子、側智子、浦邊恵美子、(一社)垣二也、大國榮一、ダイナ大阪市児童福祉施設連盟、大ミックオーナーズ会、(株)大阪北ライオンズクラブ、大イヘン代表取締役社長長蓑毛阪教区GFS、大阪教区婦正一郎、高松聖ヤコブ幼稚園、人会、大阪教区連合男子会、田中廉、徳本育英、豊田医院聖愛教会、大阪聖アンデ野加代子、長野泰信、西岡レ教会、大阪聖パウロ教会浩二、西宮聖ペテロ教会、西パウロ会、大阪淀川ロータ本行伸、日本システム技術リーククラブ、大橋武郎、奥(株)有志一同、日本児童養護村史子、小野真友美、梶田施設財団、野上千春、野知一星、片山弘文、勝田みちゑ、卓司、博愛の園・清心館家族会、畑野研太郎、初雁幼稚園園児・教職員一同、浜山弘子、川口基督教会、川稚園園児、早川育子、早川俊口基督教会婦人会、川田誠、辺竜也、早川育子、早川俊

【物品】

(学) 関西学院財務課、北山圭介、岐邨章子、釧崎克巳、神戸昇天教会、齊藤祥子、齊赤部克之、アサヒグループ食品(株)、浅海佑奈、(株)アステップ、阿部勝造、アリスアマリースパノン、(株)IDEA、上野文子、宇田玲佳、宇野喜句子、(一財) H2O サンタ、江種享子、(株)MGC代表取締役松田清治、大阪菓業青年クラブ理事長横山弘一、大阪ガス(株)、大阪ガスネットワーク(株)、大阪府玩具・人形問屋協同組合連合会理事長尾上幹太、大阪府遊技業協同組合青年部会、大阪本場青果卸売協同組合、大阪本場青果卸売協同組合理事長牛山隆之、(株)オーグス総研社会貢献活動推進室、大矢知善興、岡本(株)、岡本光璃、オリンピア製菓(株)、(株)ガイア東三国店、片岡義晴、(株)カリス会長嶋崎忍、木内弘子、協同食品(株)、こぐまのKOMICHI、熊本県経済農業協同組合連合会代表理事会長丁道夫、倉敷紡績(株)代表取締役社長藤田晴哉、グリコマニユファクチャリングジャパン(株)大阪工場、(株)GRIBEE代表取締役山鼻敬石、興国高等学校、コストコホールセールジャパン(株)、子安正明、佐伯直輝、塩月麻貴、十三奴寿し南口宣広・ひろ子、(株)シリウス、(株)しょうわ川田元、末永陽子、杉井和子、杉本統磨、(一社)生命保険協会大阪府協会、セシオン(株)代表取締役社長杉本健司、全国シヤンメリー協同組合、全国農業協同組合連合会愛媛県本部県本部長関岡光昭、雑巾を縫う会、(一社)SOCIOPLES、(株)Daska&Desire、(株)ダイヘン、多田寿恵、(株)タモツコープレーション代表取締役社長新保貴史、(株)タンバヤ、(株)cherchamer専務取締役新藤夏樹、チャッカリ平澤まこ、(株)チュチュアンナ、(株)ティーエム企画代表岸正彦、綱利彦、堂島ロータリークラブ、ドミノピザ新大阪店、内藤彰信、(株)nijitō、ニッケ商事(株)、日本鏡餅組合理事長樋口元剛、日本システム技術(株)、日本レッグニット卸商協同組合、「博愛社の児童を応援する会」(株)ビーティエス、浜田典子、濱田満寿美、ヒルトン大阪、(株)ブレッシングス、(株)ファミリーマート新大阪営業所加盟店一同、(株)プールミッシユ、藤井環、(有)フリーマーケット123、(株)フレール館メディア事業部CSチーム、プロゴルフアー小鯛竜也、ホワイティうめだ商店会会長萩原奨、真喜屋明、松井聡、松井千種、松野勝枝、(株)万代、松尾由希子、村館忍、ムーンバット(株)、(株)レイズ、山本キヨ子、ワールドメイト大きなおはぎをあなたにどうぞ支部

早川文子、林光行、樋口敏雄、ヒルトン大阪、PUREEDREAM(株)PUREE女子プロレス代表取締役コマンドポリシヨイ、プール学院中学校・高等学校、朴木清重、松原泉水、(株)万代、三島キヨコ、宮嶋公恵、(株)ミヤワキ、守口聖オーガスティン教会、吉田和子、ロックペイント(株)、匿名

博愛社後援会「芳名」敬称略

(2022年4月～2023年3月)

- 【宮城県】 足利静恵、木川田 雁子、元村妙子、元村智明
 - 【千葉県】 高田眞理子、橋本安富
 - 【東京都】 淡路有希子、武田邦隆、田坂知加子、土肥努、中村玲子、丸山晃、和氣政広
 - 【神奈川県】 伊藤英子、古谷美子、竹中眞美子
 - 【石川県】 北川茂樹
 - 【山梨県】 齊藤基
 - 【静岡県】 鶴田直宏
 - 【滋賀県】 遠藤小百合、畠中彬、村岡俊太郎
 - 【京都府】 石井久恵香、北村敏博、竹林徑一、竹林敏子、長谷川勝彦、平井長和、平井千賀子、藤倉寿美子
 - 【大阪府】 (株)アイメニユ、
- (株)アエル、青木和美、青木沙矢、青柳梓、赤松佳香、浅井靖久、浅田香里、朝日麻衣、あすなろの家、安宅貴世子、油谷咲杏、天野徹、荒井祐子、荒木幸代、井内益美、井口梨菜、池本信昭、石田晴子、いざなみ監査法人、石田美郎、石伏保子、石本栄博、伊勢田健、磯悦子、磯晴久、市原健藏、市原俊雄、伊藤範子、伊藤陽子、糸原昌美、井上初音、井上裕子、井ノ本牧子、今井一成、今井佐紀、今鷹美由紀、今中愛子、今中淳一、岩村達弥、上埜里美、植畑恵子、上村サト子、内海由利子、宇野喜句子、宇野豊、海野晴男、江崎笑美、江里口立子、エス志、久保恵子、黒川いつき、
- カラント博美、圓満涼輔、大久保正彦、大久保由佳、大阪北部ヤクルト販売(株)、大城ちづる、太田久美子、大東理絵、大西良和、大西由香里、大野高史、大野千鶴子、大野寿美、大橋祐紀、大本千尋、大森奈保子、大屋奈津希、大矢めぐみ、岡亜優美、岡田茉奈、尾方由美、岡村圭奈、岡本光璃、岡村悠恵、岡山保美、奥野敏子、奥山美江子、小椋圭一郎、織田一容、織田恵子、落美穂、小野真友美、小野光雄、改田多賀子、梶川靖夫、梶原忍、忍谷千尋、勝原沙奈美、勝原駿、門脇健二、金城泰二、金田朝、蒲田琴梨、上岡良行、加門理香、川口基督教会、河崎折、川田誠、河村卓哲、河村秩恵子、神崎美咲、神田浩行、木田紗野花、北野加代子、北原幸子、喜屋武真衣、吉川美恵子、鬼頭歩実、金瑛美、岐邨章子、木本有紀子、キンキ寝具(株)、串谷成美、工藤孝志、久保恵子、黒川いつき、
- 桑田幸奈、河野光裕、小亀綾香、後藤裕美、後藤真希、小沼あずさ、小林優季、小林真紀子、小原大輔、齊藤泰乃、齋藤純加、齋藤ゆみ、齋藤裕、齋藤祥子、齊藤壹、境光子、阪上博昭、坂本智映、坂本あかね、坂本康一郎、崎間由紀子、桜田梨穂、笹倉君代、佐治真由子、佐野節子、佐原未佳、茂田泰守、志野珠紀、篠田高陽、柴田真央、下垣桂二、下林美恵子、新北野中学校、新保誠敏、菅原奈美、杉本武鈴木由希子、鈴木久美子、鈴木鈴枝、鈴木礼子、鈴木洋祐、角静香、大門美貴子、高島ますみ、高橋明子、高橋伊代子、高三真維、高谷鮎美、宅間優希、竹内絢子、武富さくら、竹林由香里、田島壯士、多島洋介、橋尚子、巽悠里、立川武生、建部茂、谷本奈緒美、谷本潔俊、田林敬子、田村隆一郎、田村桂実、チャンティベート、塚本よし美、柘植泉、辻哲平、辻野由美、筒井かお
- り、津野紀代志、税理士法人津野・倉本会計事務所、出上俊一、手島百合子、寺田史穂菜、朽尾慎一、富川秀真、豊田医院豊田紘生、虎岩千浩、鳥山久美子、名出敬、中井菜摘、長井英昭、中川忠、中芝正美、中嶋朋美、中島実沙、中島緑、永田可菜、永谷フジエ、中辻亜紀、仲西美夏、中野香津子、中野泰三、中峯桃子、中村忠雄、中村照代、中村と志、中村未来、中矢可奈子、鍋谷真澄、二川幸子、西川篤志、西川香奈、西川照代、西川博子、西川眞砂子、西川優里、西田はな、西川幸宏、西田ヨシ子、西野恵子、西村絵琉奈、西本行伸、仁田忍、(株)編集工房ノア、野上千春、野口恵、野里雄二、野沢慶仁、野田遥佳、野知卓司、橋本明子、萩原昭子、箱崎真子、秦香、畑寿一郎、花田征美、花原飛鳥、幅田稚菜、濱田一輝、早川育子、早川俊、早川文子、林眞澄、林園佳苗、原田あか

ね、姫井昭男、廣實佐知子、村綾華、吉本教郎、淀川遊技福井優記、藤瀬愛、藤田由美子、藤永真澄、藤野寛暁、藤村真美華、藤原真理、文野陽子、平井義則、古川達也、北撰環境サービス(株)、堀内信男、前杉康子、前田孝一、前田禎之、前中陽子、榎野明美、増田愛子、松川恭子、松永英子、松永美幸、松村唯、松本桃花、三木康資、水嶋保、南和代、三船麻美亜、宮崎菜々加、宮嶋公恵、宮嶋眞、宮原鈴佳、向順子、宗像千代子、宗藤早矢、村上香、村田良子、村松なつき、(株)メリコ、元持千穂、森ちか、森中央、森田いづみ、森本朋子、森本晴夫、安田唯、柳川小々桜、柳橋吉浩、矢野沙緒里、山内紘子、山上和則、山口あつ子、山五(株)、山下君子、山田海輝、山田陸子、山村彩夏、山本和人、山本沙良、山本妙子、山本久江、山本浩子、湯原孝子、吉井まどか、芳岡節子、吉澤知子、吉田圭子、吉田史子、吉松政子、吉

村綾華、吉本教郎、淀川遊技業組合山本一博、若村正博、和田聡美、和多田祐【兵庫県】青木正博、赤山英雄、東敏勝、安部裕菜、イーンスター式典社、泉迪子、今西時子、上野貴一、大門恵奈、大谷未来、大西博孝、大野和哥子、大野定利、岡部菜穂、小川英晃、奥谷幸子、奥野哲久、加賀亮、勝田亨、金森雪絵、樺山真己子、北村寿章、楠部欣哉、桜井揚子、佐藤耕一、佐藤正子、佐野信三、佐野弘子、清水千鶴代、(学)松蔭女子学院、四方裕子、杉山克枝、瀬戸謙二、聖ミカエル幼稚園、(株)多い夢、竹下恵、棚橋次美、谷政敏、田村尚生、辻毅一郎、中野優、長野加代子、長野泰信、中原マサ子、中村大蔵、成田吉哉、西岡浩二、西垣晃一、錦織久、西台宏、丹羽昇子、野瀬一吉、萩山理恵、畑野研太郎、林靖彦、樋口敏雄、福田順子、藤山向日葵、プラス薬局、松本貞雄、

博愛社後援会会費

- ▽個人 1口 3千円
- ▽法人 1口 1万円

いずれも年会費で、期間は4月〜翌年3月

▽郵便振替口座番号 00920074676

▽口座名義 社会福祉法人 博愛社

曲直部健朗、三浦良三、水口正樹、三宅享子、宮本暢二、三好彩理佳、森本武、安井未沙紀、山崎弘子、山野上素充、山本常雄、山本雅哉、吉田恵余田愛子、若山陽子、渡邊英治、渡邊純

【奈良県】小野耕作、小玉淳一、小牟田健三郎、小牟田光子、阪峯登、ニシキ醤油(株)、西崎満、増森規子、藪内昭男、吉田啓子

【和歌山県】 岩本真治

【愛媛県】 渡邊研太郎

【岡山県】 青木実

【沖縄県】 姉崎隆、真喜屋明

児童発達支援 『ステラ』 開設!!

【児童発達支援 ステラ】

2023年5月より、児童発達支援『ステラ』が開設致しました。

「ステラ」とはイタリア語で星という意味です。「星」には様々な色や形があるように、お子さまの発達や成長にも違いがあります。一人ひとりが持つ個性を大切に伸ばし「星のように輝き、周りにも光が与えられますように!!」という思いを込めて名付けました。

法人理念「隣人愛」に基いたキリスト教教育の精神に立ち、発達に課題をもつ就学前のこどもたちのために個別療育・小集団の療育を提供しております。個々の課題に合わせた楽しいプログラムを通して「小さなできごと」を積み重ねながら自己肯定感を高め、

人とのコミュニケーションや集団のルールや社会性を学んでいきます。

ステラに通うこどもたちが、集団の中で自己のなすべきことがわかり、自発的に生き生きと活動できる事を願って取り組んでいます。どうぞ宜しくお願い致します。

【管理者】 山口 あつ子



困ったときにはご相談ください

子育て支援事業の3周年感謝イベント

【博愛社こども園】

2019年10月「博愛社こども園」開設とともに園庭開放・一時保育の子育て支援事業もスタートし、おかげさまで3周年を迎えました。その間に病児・病後児保育室「ペコラ」や本年5月に児童発達支援「ステラ」も増えました。利用して頂いた方への感謝の気持ちを込め、3月25日（土）に淀川区民センターでイベントを行いました。当日は十三



インスタスポットも大盛況

保育園や本法人の「児童家庭支援センター」や大阪市北部里親支援機関「かなーちえ」こひつじ乳児保育園も参加して下さいました。各コーナーを親子で遊んでもらい、最後は皆で保育者によるペープ



みんなでうんとこしょ！どっこいしょ！

サート「大きなかぶ」を楽しみました。たくさん笑顔がみられて嬉しく思います。これからも地域のニーズにあった支援をしていけるように努力をしていきたいと思えます。

【保育教諭 田林 敬子】

NHK歳末たすけあい義援金に感謝

【児童養護 博愛社】

今年も社会福祉法人大阪府共同募金会を通してNHK歳末たすけあい義援金をいただきました。小・中・高校へ入学した19名のこどもたちの入学祝い金として、文具や生活用品、自転車を購入いたしました。博愛社いずみの開設に伴い、新しい施設での新生活に合わせた新品の生活用品は、また一段と嬉しい気持ちにさせてくれています。また、感謝の気持ちと物を大切にすることを持って愛用してくれると思います。ご支援いただいた皆さまの温かい気持ちが、こどもたちを育み、力づけられています。ことに感謝いたします。ありがとうございました。

【副主任 勝原 駿】



「めだかさん、こんにちは」

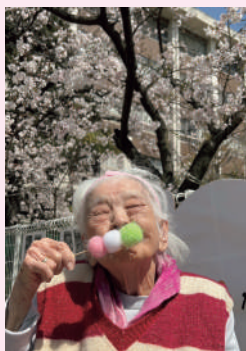


【こひつじ乳児保育園】

三月頃から大園庭でめだかを飼育するようになりました。初めの頃は、何がいるかなあ？と恐る恐る近寄ることもたち。陰にこっそり隠れるめだか達。保育士が「しー。」と言うとこどもたちも静かに水の中をのぞきます。大園庭で遊ぶ日は、めだかさんに会えるねーと楽しみながら向かっています。もう少し暖かくなったら、今度は園で飼っているかぶと虫の幼虫が成

桜の通り抜け

～笑顔になれる場所拡大プロジェクト



花より団子？

「グランドデザイン2020」のプロジェクトの一つであった桜の通り抜けを、今春初めて開催しました。春うららかな空の下、皆さん桜を満喫されました。

【高齢者事業総括

川田 誠】

【お詫びと訂正】

2023年2月1日に発行しました「はくあい80号」の1面「聖蹟主教会（博愛社礼拝堂）が国の登録有形文化財に！」の掲載内容におきまして、「1934（昭和4）年の室戸台風」と表記されておりましたが、正しくは「1934（昭和9）年の室戸台風」の誤りでした。確認不足で申し訳ございませんでした。今後このようなことがないように努めて参ります。何卒ご容赦いただけますと幸いです。



めだかさん何匹いるかな？

虫になり顔を出します。「かぶと虫さんこんにちは」と言える日が待ち遠しいです。
【1歳児担当 高島 ますみ】

「お部屋での面会」

【博愛の園】

新型コロナウイルスが蔓延した2020年3月末頃より対面での面会中止を余儀なくされ、その後、情勢を見て予約制で月に一度の面会という一部緩和をしております。この度、新型コロナウイルスが5類に引き下げとなった事に伴い、大きくその制限を緩和し事前予約なく、ご本人のお部屋まで上がって

ただく事ができるようになりました。この機会を心待ちにされていたご家族の方やご友人の方が多くいらつしやると思います。博愛の園の雰囲気や様子を存じではない方もいらつしやると思います。皆さまの来園を心よりお待ちしております。

【副主任/相談員 坂本 康一郎】



会えてほっこり

博愛社フェスティバル 【児童養護 博愛社】

ここ数年、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い地域の方々をお招きする博愛社フェスティバルを中止しておりましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことで2023年10月15日に開催することになりました。またバザー用品（新品の衣類、玩具、日用品等）の提供を再開しましたのでご協力をお願いいたします。

お問い合わせ先：06-6301-0367

（フェスティバル委員会主任 西川篤志）

博愛社本部のある三階資料

室の窓際に、黒色の小さな鐘がおかれている。今回はこの鐘についてふれておきたい。

戦後間もない大阪で、戦争孤児の救済に大きな役割を果たしたのは梅田更生館であり、その中心人物が館長の五十嵐兼次であった。彼には一九五〇年、『戦後記録 鳴り響く愛の鐘』という著書がある（以下、引用は同書）。それには一九四七年四月、マッカーサーの招きによりE・J・フランナガン神父（一八八六～一九五〇）が来日し、大阪では戦争孤児を見舞い、孤児たちに大きな影響を与えたことが記されている。

フランナガン神父はアイルランドに生まれた。一八歳で牧師になるため米国にわたり、大学や神学校で学ぶ。彼は

一九一七年に非行少年の教護施設「少年の町」(Boys Town)を創設し、多くの少年たちの更生をサポートし、有為な人間として世に送り出した。この成功は米国にとどまらなかった。終戦後、敗戦国である日本に来て、多くの戦争孤児たちを励ました。そして神父は

博愛社の歴史探検 [39]

フランナガン神父と「愛の鐘」

一九一七年に非行少年の教護施設「少年の町」(Boys Town)を創設し、多くの少年たちの更生をサポートし、有為な人間として世に送り出した。この成功は米国にとどまらなかった。終戦後、敗戦国である日本に来て、多くの戦争孤児たちを励ました。そして神父は

一九一七年に非行少年の教護施設「少年の町」(Boys Town)を創設し、多くの少年たちの更生をサポートし、有為な人間として世に送り出した。この成功は米国にとどまらなかった。終戦後、敗戦国である日本に来て、多くの戦争孤児たちを励ました。そして神父は

一九一七年に非行少年の教護施設「少年の町」(Boys Town)を創設し、多くの少年たちの更生をサポートし、有為な人間として世に送り出した。この成功は米国にとどまらなかった。終戦後、敗戦国である日本に来て、多くの戦争孤児たちを励ました。そして神父は

一九一七年に非行少年の教護施設「少年の町」(Boys Town)を創設し、多くの少年たちの更生をサポートし、有為な人間として世に送り出した。この成功は米国にとどまらなかった。終戦後、敗戦国である日本に来て、多くの戦争孤児たちを励ました。そして神父は

一九一七年に非行少年の教護施設「少年の町」(Boys Town)を創設し、多くの少年たちの更生をサポートし、有為な人間として世に送り出した。この成功は米国にとどまらなかった。終戦後、敗戦国である日本に来て、多くの戦争孤児たちを励ました。そして神父は

一九一七年に非行少年の教護施設「少年の町」(Boys Town)を創設し、多くの少年たちの更生をサポートし、有為な人間として世に送り出した。この成功は米国にとどまらなかった。終戦後、敗戦国である日本に来て、多くの戦争孤児たちを励ました。そして神父は

一九一七年に非行少年の教護施設「少年の町」(Boys Town)を創設し、多くの少年たちの更生をサポートし、有為な人間として世に送り出した。この成功は米国にとどまらなかった。終戦後、敗戦国である日本に来て、多くの戦争孤児たちを励ました。そして神父は

一九一七年に非行少年の教護施設「少年の町」(Boys Town)を創設し、多くの少年たちの更生をサポートし、有為な人間として世に送り出した。この成功は米国にとどまらなかった。終戦後、敗戦国である日本に来て、多くの戦争孤児たちを励ました。そして神父は

一九一七年に非行少年の教護施設「少年の町」(Boys Town)を創設し、多くの少年たちの更生をサポートし、有為な人間として世に送り出した。この成功は米国にとどまらなかった。終戦後、敗戦国である日本に来て、多くの戦争孤児たちを励ました。そして神父は

一九一七年に非行少年の教護施設「少年の町」(Boys Town)を創設し、多くの少年たちの更生をサポートし、有為な人間として世に送り出した。この成功は米国にとどまらなかった。終戦後、敗戦国である日本に来て、多くの戦争孤児たちを励ました。そして神父は

一九一七年に非行少年の教護施設「少年の町」(Boys Town)を創設し、多くの少年たちの更生をサポートし、有為な人間として世に送り出した。この成功は米国にとどまらなかった。終戦後、敗戦国である日本に来て、多くの戦争孤児たちを励ました。そして神父は

一九一七年に非行少年の教護施設「少年の町」(Boys Town)を創設し、多くの少年たちの更生をサポートし、有為な人間として世に送り出した。この成功は米国にとどまらなかった。終戦後、敗戦国である日本に来て、多くの戦争孤児たちを励ました。そして神父は



室田 保夫